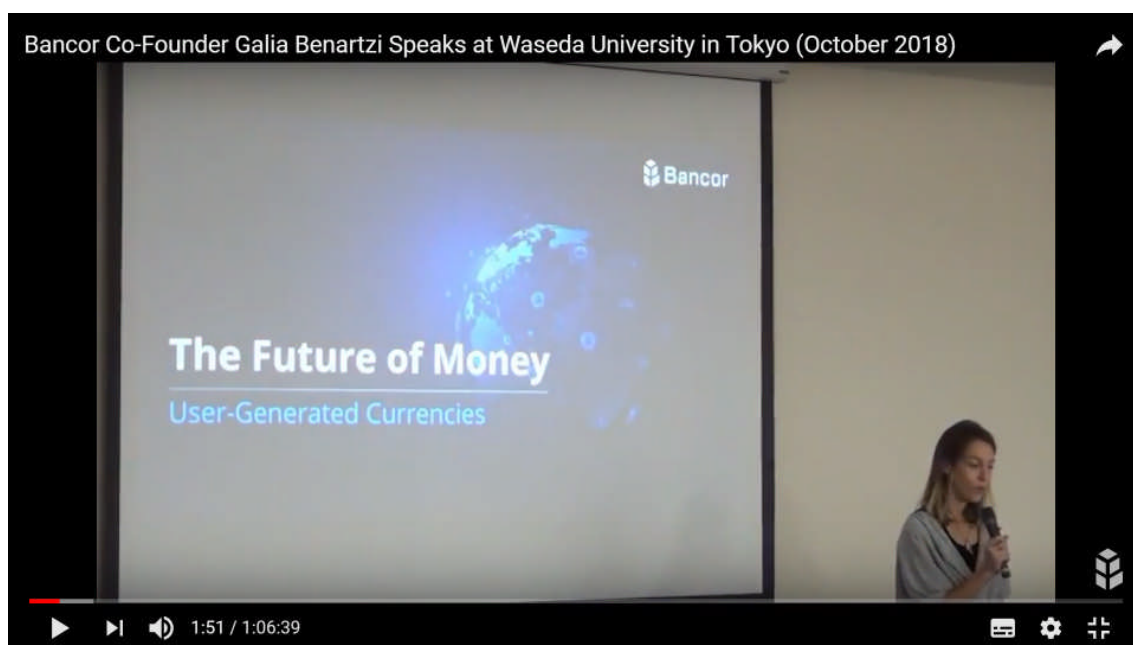


10月17日に早稲田大学120-5号館で Galia Benartzi の講演「Future of Money: The Rise of User-Generated Currency」が行われました。お金の起源と現行の通貨システムの課題を詳しく説明した後、通貨間のレートを簡便で合理的なルールで人を介さずに自動的に決める決めることで暗号通貨の安定性を大幅に高める Bancor Protocol およびその最新版の BancorX をこの講演のために新たに作成した説明資料も交えて分かり易く解説してくれました。インターネットが個人間のデータ交換のネットワークを確立したように、ロングテールのニッチなセンサーのための貨幣（トークン）もドルや円と同様に扱うことからインターネット以上に大きな意味を持つ可能性があると考えられています。Galia は翌週、国連でこの仕組みがケニアなどの発展途上国で役立ち始めていることを報告しています。講演内容は下記にアップロードされています。

<https://www.youtube.com/watch?v=16TUfmPtHeA&t=1441s>



これまで Galia は世界初のソーシャルゲーム会社 MyoTopia など複数の起業に成功しており、講演直前には Forbes の 2018 Europe's Top 50 Women in Tech にも選ばれました。講演は盛況で起業を目指す学生からの質問も多数ありました。